

校長室だより

第16号

平成30年1月10日

MOTTAINAI (もったいない)



あけましておめでとうございます！

皆さん、お正月はどのように過ごされたでしょうか？私は、三が日、自宅でゆっくりしました。それと、わんちゃんを連れての、大泉緑地の散歩でした。そこで目にした、初笑いがこの「ゴリラ」でした。

始業式では、15日までが小正月ということで、ゆったりした気持ちで始めようと思い、日本・世界各地の写真を「ここはどこでしょう？」というクイズにしたり、隠し芸大会と称して、縄跳び、リフティングの名人（先生）に登場してもらいました。（その一部はHPに載せています。）

そして、3学期の目標として、「天美小学校の3つの“あ”」をがんばろう、その中でも、「笑顔であいさつ」をがんばろうと話をしました。

笑顔の効果・力についても、紹介しました。

- ・心がおちつく力
- ・悩みを小さくする力
- ・人と仲良くなる力
- ・病気になりにくい力

等など、いろんな効果・力があるようです。

しかも、「笑顔」はタダ！この素晴らしい笑顔とあいさつの力で、天美小学校を、天美小学校での学びや仲間作りを豊かにしてほしいと思います。

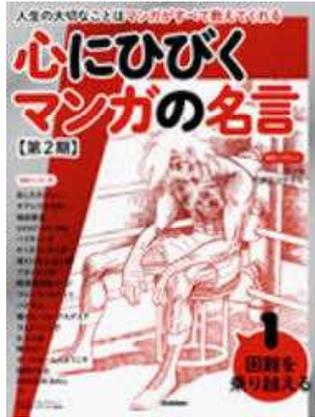
本年もよろしくお願いたします。



心にひびくマンガの名言

1月8日、本校のPTAOBで図書ボランティアのお二人に、図書の貸し出しシステムの修正をしていただきました。

私は、PCには詳しくなく、お茶係の役割だった。長時間、修正をしていただいている間、本の紹介コーナーに置いてある本が目にとまり、本を開いた。



『心のひびくマンガの名言』表紙絵は『あしたのジョー』。その作者、ちばてつやさんのインタビュー記事から始まっていた。

ちばさんは、マンガ家としてデビューする前、いろいろなアルバイトをしたそう。しかし、新聞配達をすれば道に迷い、商品の配達をすれば商品を落として割ってしまい、「てっちゃん、もう、あすから来なくていいよ」と言われたそう。

そんな日々が続いたとき、好きで夜中にこっそり描き続けたマンガでデビューし、初めて原稿料1万2351円を受け取ったとき、「マンガ家になりたいんじゃない、マンガ家しかない」と決意したと。

そのちばてつやさんが、小中学生にこんなメッセージを送ってくれています。

「…いろいろなマンガや小説を読んだり映画を観たりすることで、…こんな人間もいるんだ、こんな人生もある、こんな悪いやつもいる、こんな素晴らしい人もいるんだ、こんな人生もある、…その結果、根っこは深く伸びていき、あなたという『樹』を育ててくれます。そのうちいい花が咲き、実がなり、少しぐらいの風が吹いてもびくともしない大きな『樹』になるでしょう」と。

シリーズで5巻あり、今人気のマンガも登場します。図書室にあります。子どもさんとも一緒に読めるかも。

負けたときこそ、しっかり頭を下げる

国民栄誉賞を受賞した、囲碁・将棋界の二人の七冠。羽生善治竜王（永世七冠）と井山裕太七冠。二人には、いくつもの共通点があるそうです。
【謙虚さ】



「自分は何も分かっていないので…」、対局後の感想で、二人の口から何度も出てきた言葉。囲碁・将棋の奥深さが分かれば分かるほど、囲碁や将棋に対して謙虚になり、さらに研究していこうとする二人の探究心・向上心から出てくる素直な言葉なのだろう。

【体力】

知力・頭脳の勝負と言われる囲碁・将棋ですが、プロ棋士の試合は、朝から夜中まで、また、二日間に渡る勝負もあります。羽生さんの名勝負といわれる2012年の渡辺明王座との戦いは、朝の9時から始まり、勝負の決着がついたのは、深夜午前2時。当時42歳の羽生さんが、28歳の渡辺さんに体力でも負けていませんでした。

一方、囲碁には世界戦があります。世界戦にも日本を背負って積極的に参戦し、同時の七大タイトル戦をこなす井山さんの体力・体調維持も凄い。

【寸暇を惜しんで】

昨年、本校の生徒が優勝した「こども棋聖戦」。井山さんも棋聖として参加していました。様々なイベントにも、寸暇を惜しんで積極的に参加する井山さんに尋ねると、返ってきた言葉は「羽生先生も、そうしておられますよね」と。

【負けや失敗から学ぶ】

井山さんはある対談で、「対局に負けた時こそ、しっかり頭を下げるのが大事」と言っていたそう。様々な勝負の修羅場をくぐってこられた二人。謙虚さ誠実さが、さらに二人を成長させているのだろう。

大阪の絶景！ しかも無料(^o^)

三が日、わんちゃんと大泉緑地とその周辺に行きました。無料の絶景でした。

